

三重県総合博物館 トピック展

昔の道具を考える

電気が変えた道具とくらし 



こども
無料
(高校生以下)

2020年 2021年
12月19日(土) ▶ 2月28日(日)

【観覧料】基本展示観覧料でご覧いただけます。
(一般520円、学生310円、高校生以下無料)

【観覧時間】午前9時～午後5時(最終入場は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
※年未年始12月29日(火)から令和3年1月3日(日)まで

【主催】三重県総合博物館

【後援】三重県博物館協会

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、予定を変更する場合も
ございます。ご来館前に当館ホームページ・SNSをご確認ください。



昔の道具を考える

電気が変えた道具と暮らし

2020年12月19日(土) ▶ 2021年2月28日(日)

- プロローグ 三重に電気がやってきた
- 第1章 食事につかう道具
- 第2章 着物につかう道具
- 第3章 明るさをつくる道具
- 第4章 暖かさをつくる道具
- 第5章 涼しさをつくる道具
- 第6章 暮らしをべんりにする道具
- 第7章 暮らしを豊かにする道具
- エピローグ 災害と電気 ～電気がないと博物館もお休みに～

電気の普及により「電化」された生活道具の数々。その新しい道具の出現が私たちの暮らしにどのような変化をもたらしたのかを、実際に道具を使ってきた方々の感想を交えて紹介します。



火のし



電気アイロン



炭火アイロン



電動式ミシン



裁縫箱



手回し式ミシン



足踏みミシン



電動式ミシン

観覧料金	基本展示	年間パスポート
一般	520円(410円)	1,670円
学生	310円(240円)	1,040円
高校生以下	無料	

()内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方とご付き添いの方1名様は観覧料無料となります。毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

関連行事

ミニ講演会&道具の使い方紹介

学芸員が展示の見所を紹介するとともに現在では珍しいモノとなった道具の使い方を紹介します。

日時：令和3年1月11日(月・祝)
2月11日(木・祝)
13時30分から15時まで

対象：どなたでも参加できますが、未就学児は保護者の同伴が必要です。

定員：各日とも54人(当日受付・先着順)

場所：レクチャールーム(3階)

透明せっけんをつくってコロナをやっつけよう!

感染症対策として効果的であるせっけんの秘密を知り、透明せっけんを作ります。

日時：令和3年2月14日(日) 10時・11時・13時・14時から(約1時間)
対象：どなたでも参加できますが、未就学児は保護者の同伴が必要です。
定員：各回24名(事前申し込みが必要です)

申し込み方法

令和3年1月24日(日)までに往復はがきか電子申請にてお申し込みください。
※申し込み方法は当館ホームページをご覧ください。

(<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>)



MieMu 三重県総合博物館

みえむ MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061
tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
web <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>
twitter @mie_pref_museum
facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>

【観覧時間】午前9時～午後5時
(最終入場は閉場の30分前まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

※年末年始12月29日(火)から令和3年1月3日(日)まで

【アクセス】公共交通機関：津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター」行き「夢が丘団地行き」)約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩：津駅西口から約2.5分/自動車：伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約20分

